

平成19年9月3日

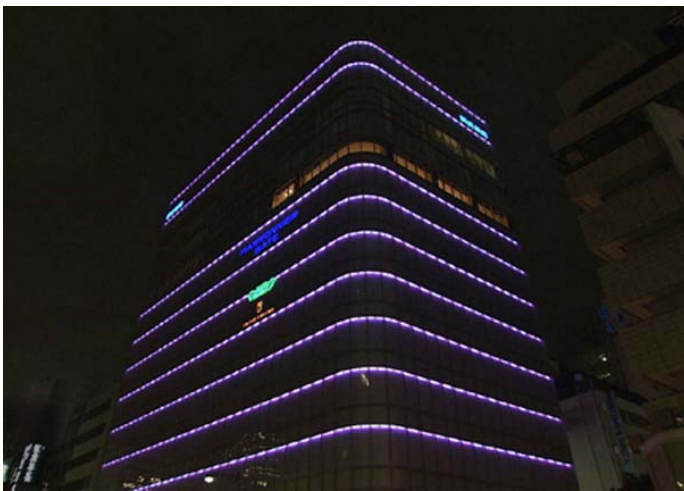
会社名 レシップ株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉本 眞
(コード番号: 7213)

マロニエゲートのファサードライティングに、 CCL (コールド・カソード・ランプ) を納入

レシップ株式会社 (本社: 岐阜県本巣市、代表取締役社長: 杉本眞) は、2007年9月1日オープン
のマロニエゲート (東京都中央区銀座2丁目) のファサードライティングに、発光色調に優れた新光源
のCCL (コールド・カソード・ランプ) を納入いたしました。

このたび採用された機器は、CCL 本体約600台、点滅・調光を制御するコントローラ、コンバーター等の機器類です。ビル3F~9Fと屋上部分の窓上辺 (内側) にCCL 本体と反射板をライン状に並べ、さらに窓と平行に反射スクリーンが設置されています。CCL から発する光を窓越しに直接あるいはスクリーン経由で間接的に、ビルの外側に向けて照射できるようになっています。

照明デザイナーの表現する色彩イメージを忠実に再現し、春夏秋冬、クリスマスやバレンタインなど、季節や時季にあわせた複数パターンで、光の演出を可能にいたしました。



マロニエゲート

建築主 : 読売新聞東京本社
設計 : 大成建設設計本部
監修・監理 : 三菱地所設計
施工 : 大成建設東京支店
照明デザイン : LIGHTDESIGN INC.



当社製品 : CCL・建築光色タイプ (右)
 α コントローラ (中央)
 α コンバーター (左)

■ CCL (コールド・カソード・ランプ Cold Cathode Lamp) について

CCL とは、ネオン発光管の原理を新しい技術で再編集した建築照明向けの光素材で、ネオン管の発光原理と発光効率の高い電子バラストを組み合わせ、パッケージ化したものです。

LED と比較しても、発光効率は約3倍以上、期待寿命はほぼ同じ水準に達しており、制御システムもシンプルかつローコストとなっております。

今回採用された「建築光色タイプ」の CCL は、建築のファサード向けに特別に色の選定が施された3色に基づいた発色により、RGB の3原色を混合した光とは異なり、高品位の建築向けの光を発します。

機器は露出しないので、建物外観のデザイン性を損なうことはありません。また、従来のネオンサインのようにビルの屋上で展開される広告とも、LED のような点発光の照明とも一線を画し、街の風景に溶け込む新しいタイプの建物用照明です。

当社は、今後さらに、ネオンを超える新たな建築用光素材の開発を通して「快適な日常の実現」を目指し、新たな都市景観づくりに貢献してまいります。

■ 業績への影響

本件の当社業績に与える影響は、開示済みの業績予想に織り込み済みであり、業績予想の修正等はありません。

(本件に関するお客様お問合せ先)

レシップ株式会社 営業本部 S & D 営業部
TEL 058-323-5208 FAX 058-323-6348

(本件に関する報道関係お問合せ先)

レシップ株式会社 管理本部総務部
TEL 058-324-3121 FAX 058-323-2597
URL <http://www.lecip.co.jp>